

2021

# 三重教務所通信

11月号



発行人:三重教務所長 安田 雅  
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00  
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail [mie@higashihonganji.or.jp](mailto:mie@higashihonganji.or.jp)  
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



## ○木越新内局の発足について

去る10月15日の宗議会（臨時会）及び参議会（臨時会）において宗務総長の指名を受けた木越渉氏が、同日付で門首の認証を受け、宗務総長に就任しました。

また、10月21日付で5名の参務が任命され新内局が発足しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

☆ 宗務総長 木越 渉（きごし わたる）〈金沢教区 第11組 光専寺〉

☆ 参 務 望月 慶子（もちづき けいこ）〈山陽教区 第6組 浄泉寺〉  
[解放運動推進本部長] [青少年センター長]

□ 担当部門：企画調整局、解放運動推進本部（女性室）、青少年センター、  
教学研究所

☆ 参 務 齊藤 法顕（さいとう のりあき）〈九州教区 鹿児島組 明信寺〉  
[宗務改革推進本部長]

□ 担当部門：総務部、内事部、宗務改革推進本部

☆ 参 務 酒井 良（さかい ひさし）〈岡崎教区 高岡組 西雲寺〉  
[財務長] [首都圏教化推進本部長]

□ 担当部門：組織部（国際室）、財務部（財産管理室）、  
東京宗務出張所・首都圏教化推進本部

☆ 参 務 古賀 堅志（こが けんし）〈九州教区 大牟田三池組 浄泉寺〉

□ 担当部門：教育部、出版部、親鸞仏教センター

☆ 参 務 尾畑 英和（おばた ひでかず）  
〈岐阜高山教区 第5組 正壽寺〉

[儀式指導研究所長]

□ 担当部門：本廟部（儀式指導研究所）、  
大谷祖廟事務所  
研修部（推進員室、  
帰敬式実践運動推進事務室）



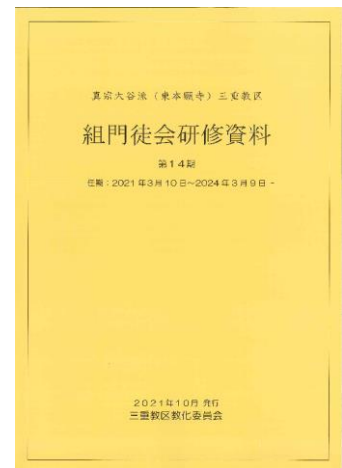
前列左から望月参務、大谷暢裕門首、木越宗務総長  
後列左から齊藤参務、酒井参務、古賀参務、尾畑参務

## ○『組門徒会研修資料』の組門徒会員への配布について(依頼)

このたび、教区教化委員会において、『組門徒会研修資料』(第14期)を作成しました。

この資料は、各組において組門徒会研修が開催される折に、サブテキストとして活用いただくよう、当研修を担当いただいている講師の方々にご尽力をいただき作成したものです。

つきましては、各寺院分(1冊)及び寺院組門徒会員人数分送付しますので、各寺院にてお目通しいただくとともに、ご住職様にはお手数をお掛けしますが、貴寺組門徒会員へお渡しくださいますようお願いいたします。



## ○内局巡回の開催について

今年度より宗門において「宗務改革推進本部」が設置され、今後の宗門組織や教化及び財務の諸課題について協議が進められています。

その内容を中心とした内局巡回が今年度下記のとおり開催される予定です。この内局巡回は、行財政改革の目的の明確化を図り、持続可能な宗門機構への変革に向けた取り組みとして開催されます。



前回(2018/9/11)の内局巡回

今回、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインを使用したサテライト会場を2カ所設け、3会場で開催します。

日時: 2022年1月31日(月) 午後2時~午後4時30分

会場: (1) **北勢会場** 桑名別院本堂 桑名・長島・員弁・三講・三重・四日市組の方  
(2) **中勢会場** 託縁寺 中勢1・中勢2・伊賀組の方  
(3) **南勢会場** 立雲寺 南勢1・南勢2組の方

内容: 宗務改革(行財政改革)の推進に向けて

対象者: 宗議会議員及び参議会議員、教区会議員、正副組長、教区門徒会員、教区教化委員会委員、教区坊守会委員、その他組長が必要と認めた者

### 【住職任命】

桑名組	常音寺	松崎 久芳 (2021年8月28日就任)
三講組	善行寺	伊藤 康 (2021年9月28日就任)

### 【敬弔】

三重組	乗得寺	前任職 栗田 龍麿 (2021年10月13日寂)
-----	-----	--------------------------

## ○第4回門徒戸数調査について

来年2月1日に第4回全国門徒戸数調査が実施されます。

「門徒戸数調査」は、宗門の護持・運営・教化に資する行財政基盤の確立に向けて、宗門人一人ひとりの責務として、公正かつ公平な取り組みを具現化させる宗務改革として実施されるものです。

集計された調査結果は、25教区に対する割当基準算出の重要要素として使用されます。

調査方法については、調査期日において、寺院・教会の住職・教会主管者又はその代務者が、調査票の各項目に該当する数値をそれぞれ記載し、その調査票により申告された数値を集計する方法により行います。

調査にあたっては、組長が「教区門徒戸数調査委員」及び「組門徒戸数調査委員長」と定められ、来る11月30日に、中央門徒戸数調査委員会委員による説明会が開催され、調査に向けた準備が進められます。

11月30日	教区門徒戸数調査委員会（調査説明会・組長、組門徒会長対象）
2022年1月18日	別院及び普通寺院・教会に調査票発送
<b>2月1日</b>	<b>調査期日</b>
<b>～2月15日</b>	<b>各寺院より、組門徒戸数調査委員会（組長）へ調査票を提出</b>
～2月末日	組門徒戸数調査委員会（組長）より教区門徒戸数調査委員会（教務所）に調査票を提出
3月1日～14日	教区門徒戸数調査委員会開催
	中央門徒戸数調査委員会（本山組織部）に調査票を送付

### テレホン法話のご案内

11月 1日～15日 …藤波 淳 氏（三重組 誓海寺住職）

11月 16日～30日 …小幡 智博 氏（南勢1組 西光寺住職）

心をひらく 24時間 いつでも どこでも テレホン法話 ☎ (0594) 23-6191

# ○宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要団体参拝について

2023年3月25日から厳修予定の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要について、三重教区には1,250人の団体参拝が予定されています。

今回の慶讃法要は、真宗本廟でゆっくりとお参りいただけるよう法要は1日1座とし、参拝席も椅子席で計画されています。

現在、各組から団参希望日を聞き取り、来る11月30日に各組長や部会代表による調整を行い、団参日を決定する予定です。



## 諸会議報告

### ○ 教区会参事会懇談会

- ・10月8日に会議を開催し、1月31日に予定されている「内局巡回」の持ち方について協議された。まず「内局巡回」の主な協議内容である「宗務改革（行財政改革）案」は各組の運営に対して大幅な変更を伴うものであることから、参加対象者に組長が必要と認めた者も追加すること。さらに協議内容を深めるべく、巡回に先立って事前説明会を11月2日に開催することを確認した。
- ・次回は12月15日（水）午後1時30分から、「内局巡回」の意見取りまとめを行う。

### ○ 教区寺院活性化支援室に係る会議

- ・この会議は「教区会参事会員」及び「教区教化委員会教化推進総務会委員」で構成され、本山・企画調整局との協議を経て「教区寺院活性化支援室」設置について検討を始めている。10月18日の会議には本山・企画調整局非常勤嘱託兼寺院活性化支援員である長崎直氏（長島組善明寺住職）にも出席いただき、教区支援室の設置の願いについてお話いただいた。今後は、既に設置済の大垣教区や九州教区の動きを参考にしながら、三重教区における「教区寺院活性化支援室」設置に向けて、協議を重ねることを確認した。

## Dialogue (ダイアログ・対話) — 教区教化委員会報告 —

### ○ 教化推進総務会

- ・10月12日に会議を開催した。まず、今後の諸会議（「教区寺院活性化支援室設置にかかる会議（10/18）」、「内局巡回（1/31）」、「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に係る企画要員会議第4回作業部会（11/11）」について確認を行った。次に、来年4月より三重同宗連（同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議）の議長教団を当派が担当となるにあたり、同宗連事業の企画及び実施について、三重教区「差別と人間を考える」協議会と十分に連携をとりながら進めていくことを確認した。また現

在、星川佳信氏（三重組大圓寺住職）に就任いただいている教誨師について、後任の選定にあたり、担当部門である社会教化小委員会と教区仏教青年会合同で、星川氏から教誨師についてのお話を聞き、理解や学びを深めることを確認した。

- ・次に、教区合同協議会の持ち方について、特伝推進本部より協議会の開催概要案が提出された。今後特伝推進本部と協議を重ねて、開催概要を確定する。1月25日（火）午後1時30分から開催予定。

## ○ 特伝推進本部

- ・10月13日「特伝懇談会事前自主学習会」を対面・オンライン併用で開催。懇談項目を検討精選する。
- ・10月14日、月例会議を対面・オンライン併用で開催。10月12日開催の「教化推進総務会」での報告を受け、特伝本部提案の「教区合同協議会」開催概要を再確認した。改めて11月4日に総務会代表者と協議することを総務会宛申し入れた。
- ・10月20日、桑名組との「第11次特伝懇談会」を開催。桑名組から15名、本部より3名が出席した。終了報告書や修了アンケートからは読み取ることのできない特伝実施の実情や、組における今後の課題、また今後の特伝の方向性について桑名組から活発な意見をいただいた。次回は10月28日に三重組三部との「懇談会」が予定されている。

## ○ 寺族門徒研修小委員会

- ・10月19日に会議を開催した。まず、三重教区帰敬式実践運動推進計画について、今年度の『教報』（96～101頁）に掲載しているが、その内容について委員間で再度確認をした。今年度はその取り組みの一環として、「帰敬式執行者研修会」を開催する。開催時期は来年4月頃を予定。本山本廟部式務所の職員を招き、儀式講習を行うことに併せ、「帰敬式の意義」についても学ぶ講習会として計画している。次に、真宗の仏事の回復に資する資料の作成について、昨年度は掲示伝道として各寺院で活用できる「法語ポスター」を作成し、毎月の『教務所通信』に同封し教区内寺院へ送付している。（今月は4回目）今年度においても、引き続き作成する為、今後、法語の選定を行う。その他、当委員会所管事業である「得度義務研修会（2022年3月29日）」、「教区育成員研修会（2022年5月26日～27日）」について協議を行った。また、慶讃法要企画要員会議の進捗状況報告を行い、当委員会でも慶讃テーマの学習を継続して行うことを確認した。次回は1月18日（火）午後1時30分から開催予定。

## ○ 青少幼年教化小委員会

- ・10月1日に三重同朋会館で会議を行った。2名オンライン▽総務会報告では、8月24日に行われた慶讃法要企画要員会議慶讃テーマ学習で、大橋宏雄委員のお話を聞いた感想をそれぞれ述べた。次回の会議から委員2名ずつ慶讃テーマについて感話を行う予定▽花まつりについては、会議後の10月11日に実行委員会を行った。忌憚のない意見は中々出づらいが、時間をかけて協議をしていきたい▽桑名別院報恩講音楽法要については法要自体を知らない委員が多いことから、別院音楽法要のDVDを員辨氏に用意していただき、事務局には歌詞カードを用意していただいた。委員それぞれで鑑賞す

る形にはなるが、普及にはまずは法要にお参りするところからしか始まらないと思う▽その他各部門の報告課題を確認した▽次回は来年1月20日(木)13時半より三重同朋会館にて行う。

## ○ 教区「差別と人間を考える」協議会常任委員会

- ・10月21日開催予定の本山・解放運動推進本部主催「部落差別問題等に関する協議会」に向けた教区内意見聴取のため、10月11日に開催。『観経』『是旃陀羅』問題に関連して「仏事における『観経』読誦について、教区・寺院で課題となっていること」として、(i)『観経』を読まないことで、仏教が説く「救いの具体性」が失われないか。(ii)本山の「指示待ち」という対応では解決しない問題と認識すべき。(iii)「是旃陀羅」問題について『教務所通信』等で教区内寺院から広く意見を聞く機会が必要。他の意見交換がされ、鈴木勘吾代表(四日市組法蔵寺)より上記協議会で報告される。

## ○ 教学研究室(藤嶽室長講義)

- ・10月7日に第2回月例会を対面・オンライン併用で開催。研究員11名が参加。藤嶽室長は講義中、善導・『観経疏』序分義に依って「禁母縁」の前半部は、善導が阿闍世の「心の動き」に深く踏み込んで、外に現われない「意業」に基づいて「人間存在」を詳細に表現していることを示された。また重ねて話し合いの中では「興味深いこととして、頻婆娑羅や韋提希が改めて仏教に求めることと、そういう人間をご覧になった仏さまからの用きかけが、すぐには一致しません。八戒を求める頻婆娑羅に釈尊は法を説く富楼那を派遣します。韋提希は定善を求めていきますが、釈尊は定善とともに散善を説くわけです。人間が救いを求めるとか仏教に関心を向けると言いますが、人が「自分が救われていくこと」を全て自明のこととして分かり切って求めるというわけにはいかないのですね。そこは人を人以上によく知りたる仏が、『観経』であれば韋提希の「心の所念」を仏がよく承知せられて、仏自らが王舎城内にお出ましになるという事柄も出てまいります。仏は人が求めたものだけを説かれるわけではない。求めたことを大きな手掛かりにさらに人間を深く見つめ、そこに人間全体が救われていく教えを彰かにしようとされていくのです」と語られた。

## ○ 教区坊守会

- ・10月5日(火)、第二回坊守講座をZOOMを使用したオンラインのみで開催した。講師は瓜生崇先生(京都教区玄照寺住職)で、講題は「救われない私」。参加人数は26人。
- ・10月6日(水)役員会をZOOMで開催した。第二回坊守講座の反省点や、計2回の坊守講座を収録したDVDを坊守会員へ送付する件、来年2月予定の現地研修について打ち合わせをした。また、坊守会費を教務所で預かった時の領収書の発行について確認した。



オンラインで講義する瓜生先生

## 今月の法語

往生とは道であります。浄土への道が往生である。  
往生の道、浄土往生の道。

だから浄土は未来にある、往生は現在にある。

曾我量深（1875—1971）『曾我量深講義集 第七巻』より

## ○ 書籍のご案内

### 『供養のこころ』

池田勇諦 著 定価：88円（税込）

ご法事の際における施本として最適な仏事冊子シリーズ

真宗における「供養」とは？

私たちにとって「供養」とはどのような意味をもつのか。日本における霊信仰や現代のカルト問題など、様々な視点をとおして真宗における「供養」の意味を尋ね、「本当に亡き人を大切にするとはいくことか、を問う小冊子。

長3封筒で送付可能な判型です。



### 『本願寺の軌跡—創建から東西分派、そして現代へ—』

草野顕之 著 定価：1,540円（税込）

オールカラーの豊富な図版・写真とともにつづる、本願750年の発展史

親鸞聖人の示寂後、京都・東山の地に建てられたお墓所、大谷廟堂（おおたにびょうどう）。その小さなお堂が、一体どのようにして巨大な両堂を有する現在の真宗本廟（しんしゅうほんびょう）（東本願寺）へと発展したのか…？

廟堂の寺院化、衰微（すいび）時代と蓮如上人による再興。信長・秀吉・家康ら戦国武将との関りの中生じた東西分派。そして四度にわたる焼失からの再建…。真宗の教えに生き、護り伝えんとする人々の志願に満ちた750年の軌跡(ものがたり)をたどる。





日	曜	行事内容
1	月	
2	火	内局巡回事前説明会 14:00-
3	水	
4	木	総務会・特伝本部懇談会(WEB)14:00-
5	金	花まつり執行部会 13:30-
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	慶讃法要に係る企画要員会議(第4回作業部会)14:00-
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	特伝本部会議 13:30-
16	火	児連月例会 13:30-
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	真宗本廟 御正忌報恩講
23	火	
24	水	
25	木	仏青学習会 13:30-
26	金	合唱団「ひかり」練習 13:00-
27	土	
28	日	
29	月	花まつり実行委員会 13:30-
30	火	門徒戸数調査説明会 14:00-(WEB) / 慶讃法要団参期日調整会 16:00-

① 別院行事案内(A3版:本堂等掲示用。A4版:組門徒会員配布用。) ② 法語ポスター ③ 『組門徒会研修資料』(寺院1冊、各寺組門徒会員分)